

中部知多衛生組合の財政状況

ここにお知らせする財政状況は、組合の収入及び支出状況、財産、組合債の状況等を皆さんに正しく理解していただくために毎年5月と11月に公表しているものです。

今回は、平成27年度決算状況と平成28年度予算の上半期（4月～9月）の執行状況についてお知らせします。

平成27年度決算

施設は、昭和61年3月稼動以来30年目にあたり、耐用年数を超過する設備・機器等が多く、施設全体の老朽化が進行している状況であります。また、汲取り便槽の水洗化等による浄化槽の普及により、各施設の浄化槽汚泥搬入比率が当初と比べ非常に高くなっており、し尿等の搬入性状が当初設計負荷と比較して希薄化しているため、施設運営の効率化が困難な状況となっております。このような課題を受け、継続的かつ、安定した処理機能の確保、循環型社会に資する処理システムへの転換を目指し、下水道放流方式として延命化するため、本年度は「し尿処理施設整備方針検討業務」を委託しました。検討の結果、報告書におきまして施設整備手法は、循環型社会形成推進交付金対象事業として「前処理・前脱水方式」による手法とし、事業方式につきましては「DB+O方式」が適切であるとされました。

また、施設の維持管理等におきましては、経年劣化により非常用バッテリーへの充電不足が生じていた直流電源充電設備取替工事及び、昨年度に引き続き管理棟屋上防水工事等を行い、順調な運転を続けることができました。

決算状況を見ますと、歳出は2億9,118万2,883円で、前年度に比べ1,479万円余の減額となりました。これは、し尿処理費において、運転資材費及び設備等整備費が減額となったことによるものです。運転資材費におきましては、灯油、電気等の単価が当初見込みより低く安定したこと及び、収集量が減少したこと、設備等整備費では、整備計画に沿って行っている工事等が前年度に比べ減少したことが主な要因であります。

なお、生し尿等の収集量は、公共下水道の面整備の進捗、接続人口の増加によって、引き続き減少していくものと推測します。

今後は、施設の効果的な運営を図るとともに、本年度実施いたしました「し尿処理施設整備方針検討業務」の検討結果を踏まえ、下水道放流方式として改修整備工事することを進めてまいります。

▼ 歳入歳出額の比較

(単位：千円)

区 分	26年度	27年度
歳 入	317,400	308,586
歳 出	305,976	291,183
歳入歳出差引額	11,424	17,403

目的別

(単位：千円：%)

区 分		予算額	決算額	構成比
歳 入	分担金及び負担金	292,079	292,079	94.7
	繰越金	11,423	11,424	3.7
	諸収入	5,095	5,083	1.6
	計	308,597	308,586	100.0
歳 出	議会費	1,385	1,287	0.4
	衛生費	302,211	289,896	99.6
	公債費	1	0	—
	予備費	5,000	0	—
	計	308,597	291,183	100.0

性質別

(単位：千円：%)

区 分	金額	構成比
人件費	35,045	12.0
物件費	191,387	65.7
維持補修費	11,873	4.1
補助費等	359	0.1
普通建設費	52,519	18.1
計	291,183	100.0

組合債の現況

(28.3.31 現在)

借入先	現在高
なし	なし

組合財産の状況

土地 17,358.83㎡
建物 4,820.38㎡

28年度上半期予算執行状況表

組合管内の状況

人口 220,340人
世帯 90,858世帯

平成28年度とは、平成28年4月1日から平成29年3月31日までをいいます。ここに掲げました数値は9月30日現在のものです。

(単位：円：%)

区 分		予 算 額	予算執行済額	執 行 率
歳 入	分担金及び負担金	319,240,000	159,622,000	50.00
	繰越金	1,000	17,403,434	—
	諸収入	4,817,000	2,016,066	41.85
	計	324,058,000	179,041,500	55.25
歳 出	議会費	1,385,000	765,864	55.30
	衛生費	317,672,000	117,361,915	36.94
	公債費	1,000	0	0.00
	予備費	5,000,000	0	0.00
	計	324,058,000	118,127,779	36.45